

門司地区



門司港駅から、もう一つのレトロの街、門司・大里へ



煉瓦造平屋建・赤煉瓦の倉庫群。『ニッカウヰスキー(株)門司工場製造場』

鈴木商店の大里酒精製造所として始まった大正14年竣工の煉瓦造平屋建。これら赤煉瓦の倉庫群は人々の心を魅了する貴重な佇まいです。その後平成18年にアサヒビールグループの蒸溜酒製造会社であるニッカウヰスキーの焼酎製造工場となりました。鈴木商店はあのドラマ『お家さん』の大正3年創立の世界の商社でした。

http://sangyokanko.com/food/nikka_whisky/

MOJI RETORO

T15

nostalgie kannmon 2018

ニッカウヰスキー門司工場製造場



大正期の砂糖貿易商の面影残す『関門製糖』

明治 36(1903)年に設立の鈴木商店大里進出第一号となる大里製糖所から関門製糖へ。近代化産業遺産。大里製糖所は、現在も関門製糖として 110 年間経った現在も稼働を続けている。概観も当時のままの煉瓦造りをそのまま維持している。道路を挟んだ原料用倉庫も当時の建物をそのまま使用。岸壁にも当時の面影を感じることができる。

<http://www.suzukishoten-museum.com/footstep/history/>

MOJI RETORO M7



門司赤煉瓦プレイスの『北九州市門司麦酒煉瓦館』

明治末期、山田弥八郎らは九州で最初のビール会社設立を画策。赤煉瓦プレイスである大里町のこの地に煉瓦造建物群ができあがり、ビールの製造を始めました。これら歴史的建造物の多くは 1913 年に竣工した帝国麦酒の工場施設です。日本における最初期の鉦滓煉瓦建物であり、現存最古の本格的鉦滓煉瓦建築です。歴史的建造物を未来に伝えるため 4 棟の煉瓦造施設を活用し、資料館や飲食店として広く多くの方に利用されています。<https://blogs.yahoo.co.jp/hsnm3373/35687120.html>



帝国麦酒株式会社の工場施設『旧サッポロビール九州工場の醸造棟』

門司駅近辺にはレトロな赤煉瓦の建物「旧サッポロビール九州工場の醸造棟」が聳えます。大正2年建築のレンガ造りの建物です。外観は赤レンガの化粧積であるが、内部は鉋滓レンガ積となっている。外観の主要な部分は石材を使用するなど固有の装飾が施されています。

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/02100276.html>

